

2026 年 2 月 9 日

山口県下関市

日揮ホールディングス株式会社

株式会社レボインターナショナル

合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

コスモ石油マーケティング株式会社

下関市と廃食用油の SAF 等への資源化促進に関する協定を締結 ―市内公共施設で家庭系・事業系廃食用油を回収し、国産 SAF 製造向けに供給―

山口県下関市（市長：前田 晋太郎、以下「下関市」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レボインターナショナル」）、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）およびコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「コスモ石油マーケティング」）は、使用済み食用油（以下「廃食用油」）を活用した SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の普及促進に向けた連携協定（以下「本協定」）を本年 2 月 6 日に締結しましたのでお知らせします。また、同日に下関市役所本庁舎にて前田市長のご参加のもと本協定締結式を実施し、地域と企業が一体となった新たな資源循環モデルの構築に向けて第一歩を踏み出しました。



協定締結の様子（左から日揮 HD の秋鹿正敬専務執行役員、コスモ石油マーケティングの岡田正取締役常務執行役員、下関市の前田晋太郎市長、レボインターナショナルの栗山博明炭素源循環推進部次長、SAFFAIRE SKY ENERGY の西村勇毅最高執行責任者 COO）

さらに、下関市は同日付で、SAF で航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project」にも参画し、市内の家庭などから回収した廃食用油を SAF へリサイクルする取り組みを進めます。

また、3 月 14 日に下関市内で開催予定のイベント「コスモ アースコンシャス アクト クリーン・キャンペーン」では、市民の皆さまにお持ちいただいたご家庭の廃食用油を回収する活動を行う予定です。

【背景と目的】

下関市は、環境省が選定する「脱炭素先行地域」に認定され、地域経済の活性化と脱炭素化の両立を目指しています。唐戸市場などの観光施設や第三次産業が集積する市街地を中心に、環境配慮行動優良事業者認定制度と地域金融機関による金利優遇融資商品を組み合わせることで、設備投資を促進する取り組みを進めています。また、市民の脱炭素に関する行動変容を促進するため、環境教育や周知啓発にも力を入れています。

こうした背景を踏まえ、本協定では、市民や事業者が参加できる仕組みを通じて、廃食用油を資源化し、国産 SAF の原料として活用していきます。協定を締結した 5 者が緊密に連携し、持続可能な循環型社会の形成と脱炭素社会の実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

【協定の主な内容】

- (1) 廃食用油の回収に関する事
- (2) 廃食用油を用いた SAF 等の製造及び維持継続するために必要な活動に関する事
- (3) 廃食用油を SAF に資源化することを広く市民等へ情報発信する機会の提供及び普及啓発活動に関する事
- (4) 下関市内における新たな回収拠点拡大のために必要な活動に関する事
- (5) その他、本協定の目的を実現するために必要な事

【具体的な取り組み】

今回の協定に基づき、下関市環境部庁舎に家庭系廃食用油の回収拠点を設置し、2 月 6 日より市民からの回収を開始しました。また、市内の小中学校給食調理場等の下関市公共施設から出る事業系廃食用油についても、2026 年 4 月からの SAF 製造への活用に向けて準備を進めています。

下関市が公共施設等で回収した廃食用油および下関市公共施設等で排出された廃食用油は、レボインターナショナルが収集・運搬し、国内初の SAF 大規模生産を行う SAFFAIRE SKY ENERGY のプラント（大阪府堺市）へ運び、国産 SAF の原料として資源化します。なお、本協定に基づいて下関市が SAF の原料向けに提供する廃食用油は年間でおおよそ 12,000kg を見込んでいます。

今後は、家庭系廃食用油の回収拠点の更なる拡充の検討や、市民および市内の民間事業者への周知等を通じて、地域全体で資源循環を推進します。

この取り組みは、市民一人ひとりが脱炭素に貢献できることを実感できる身近な取り組みであり、脱炭素先行地域の目標達成と 2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティしものせき」の実現に向けて、市民・事業者・行政が協力して取り組みを進めていきます。



「協定に基づくサプライチェーンのイメージ図」

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

コスモ石油、日揮 HD およびレボインターナショナルは、国内における廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、2024 年 12 月にコスモ石油堺製油所（大阪府堺市）内において SAF 製造装置の建設を完了。2025 年 4 月頃から主要エアラインなどに国産 SAF の供給を開始しました。供給する SAF は、国際的な持続可能性認証である ISCC CORSIA 認証を取得しています。



完工した SAF 製造装置

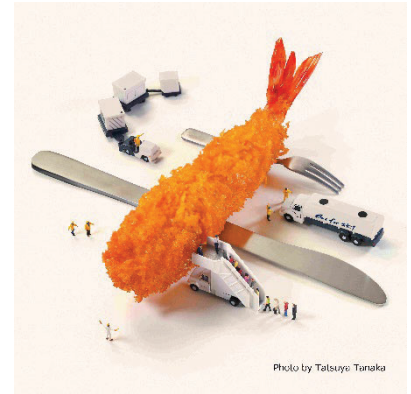


SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設

【Fry to Fly Project について】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。プロジェクトは日揮 HD が発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。

特設ホームページ：<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>



Fry to Fly Project「」キービジュアル

【脱炭素先行地域について】

地域特性等に応じた先行的な脱炭素の取組を実行することにより、2030 年までに、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴う CO2 排出実質ゼロの実現を目指す地域であり、全国の各地域に脱炭素の取組を広げるためのモデルとなるものです。この枠組みにおいて、環境省が募集した第 5 回「脱炭素先行地域」の公募において、コスモ石油マーケティングは下関市の共同提案者として参画しています。

URL：<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2024/241016-01.html>

以上